

グザヴィエ・ドゥ・メストレ

Xavier de Maistre Harp Recital

ペシェッティ：ソナタハ短調 IGP 2 (サルセード編)
Giovanni Battista Pescetti: Sonata in C minor IGP 2
(transcribed by Carols Salzedo, 1931)

タレガ：アルハンブラの思い出 (メストレ編)
Francisco Tárrega: Recuerdos de la Alhambra
(arranged by Xavier de Maistre)

ファリャ：歌劇《はかなき人生》～スペイン舞曲
Manuel de Falla: Danza española (Spanish Danse) from «La vida breve»

ドビュッシー：月の光
Claude Debussy: Clair de Lune from «Suite bergamasque»

スメタナ：モルダウ (トウルネシュク編 op.43)
Bedřich Smetana: Vltava (Moldau) from «Má vlast» (arranged by Hanuš Trněček)

ドビュッシー：神聖な舞曲と世俗的な舞曲
Claude Debussy: Danse sacrée et Danse profane pour harpe et cordes

フォーレ：即興曲変ニ長調 op.86
Gabriel Fauré: Impromptus in D flat major op. 86

ラヴェル：序奏とアレグロ
Maurice Ravel: Introduction et allegro,
septuor pour harpe, flûte, clarinette et quatuor à cordes

[ゲスト] Guest

エウレカ カルテット Eureka Quartet

森岡 聡 (ヴァイオリン) Satoshi Morioka violin

廣瀬心香 (ヴァイオリン) Mika Hirose violin

石田紗樹 (ヴィオラ) Saki Ishida viola

鈴木皓矢 (チェロ) Koya Suzuki violocello

上野由恵 (フルート) Yoshie Ueno flute

金子 平 (クラリネット) Taira Kaneko clarinet



エウレカ カルテット

© Nikolaj Lund



上野由恵

© Akira Muto



金子 平

© Kosuke Atsumi

2025年
6月11日(水)

19時開演 (18時30分開場)

Wednesday 11 June 2025 | NIPPON STEEL Kioi Hall Tokyo

日本製鉄 紀尾井ホール

チケット発売日

2025年3月7日(金) 正午▶



チケット料金 (全席指定/消費税込)

S席9,000円 A席6,500円  A席2,500円

当日会場価格は、各券種+500円となります (各種割引の適用外)

※料金は税込みです。本紙掲載の料金のほか、所定の手数料がかかります。手数料はお支払方法により異なります。

※は公演当日に29歳以下の方を対象とする優待料金です。取扱いは紀尾井ホールウェブチケットのみで、枚数には制限があります。詳しくは紀尾井ホールウェブサイトをご覧ください。

無料で招待席「紀尾井みらいシート」

小学生から高校生まで(公演日基準)とその保護者をご招待。詳しくは裏面をご覧ください。

チケットのお申込

紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp/tickets>

操作方法については、ヘルプデスク 0570-550372(火~金 12時~16時)へお問合せください。

チケットぴあ <https://t.pia.jp> [Pコード:290-266]

イープラス <https://eplus.jp>

CNプレイガイド 0570-08-9999(10時~18時 年中無休)

<https://www.cnplayguide.com/>

※出演者・曲目・曲順は予告なく変更となる場合があります。
※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。
※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
※不測の事態で公演中止となる可能性がございます。その場合はウェブサイトにてお知らせいたします。公演中止の場合に限り、チケットご購入者に券面表示金額にて払戻しいたします。

[主催] 公益財団法人 日本製鉄文化財団



大きな話題となったルセロ・テナとの公演から6年。今回はソロに加え、メストレが日本で初めてアンサンブルも披露します。驚異的なテクニックと無限の色彩、語るようなフレージングと華麗なパッセージワーク。楽器のあらゆる可能性を引き出し、繊細・優美からスケールの大きな音楽まで自在に創造する現代最高峰のハーピスト、メストレが再び紀尾井に還ってきます。

グザヴィエ・ドゥ・メストレ (ハープ)

Xavier de Maistre *harp*

9歳からハープを学び、ジャクリーヌ・ボローとカトリーヌ・ミシエルに師事。パリとロンドンで政治と経済も学ぶ。16歳の時に、パリ・ハープ・コンクールで優勝、その後、カーディフ、ミュンヘン、ウィーン、エルサレムでの主要な国際コンクールでも数々の賞を受賞。

96年バイエルン放送交響楽団にソロ・ハーピストとして入団。98年、世界で最も権威のあるUSA国際ハープ・コンクールで優勝と同時に2つの演奏賞受賞。その翌年、25歳という若さで、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ・ハーピストに就任、02年にはアンドレ・プレヴィンの指揮でウィーン・フィル史上、ハーピストとして初めてハープ協奏曲(ヒナステラ)を演奏した。

ソリストとしての活動も活発で、プレヴィン、ハインリヒ・シフ、アルミン・ジョルダン、アレクサンドル・ラザレフ、ベルトラン・ド・ピリー、フィリップ・ジョルダン等著名な指揮者のもと、ザルツブルク・モーツァルテウム管、イスラエル・フィル、モンテカルロ・フィル、チェコ放送響、バイエルン放送響、KBS響、ボルドー響、スペイン国立響、NHK交響楽団等数多く一流オーケストラと共演。

また、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ザルツブルク音楽祭、シュペルティアード、ラインガウ音楽祭、ウィーン芸術週間、ウィーン復活祭音楽祭、



© Jean-Baptiste Millot

ブダペストの春音楽祭、ヴェルビエ音楽祭、ヴェルツブルク・モーツァルト音楽祭を含む世界各地の主要な音楽祭に招かれ、キャスリーン・バトル、ディアナ・ダムラウ、インゴルフ・トゥルバン、ボー・スコウフス、バーバラ・ボニー等のアーティストと共演するほか、ペーター・シモニシェク、ミゲル・ヘルツ・ケストラネク、アンドレア・ジョナサン等の俳優とも共演。

録音はハルモニア・ムンディ、クラウヴェスからリリースされており、08年よりSony-BMG Internationalで専属的に録音を始めた。『エトワールの夜』(ソニー・ミュージック)では、世界的にも大きな成功をおさめ、エコー・クラシック・アワード2009「演奏家賞」受賞。

01年ハンブルク音楽大学教授に就任。ジュリアード音楽院、桐朋音楽大学、上海音楽院、トリニティ音楽院で定期的にマスタークラスを行っている。

日本製鉄紀尾井ホールへは2006年にデビュー。以後、これまでに4回出演している。

<https://www.xavierdemaistre.com/>



エウレカ カルテット Eureka Quartet

森岡 聡 (ヴァイオリン) 廣瀬心香 (ヴァイオリン)
Satoshi Morioka *violin* Mika Hirose *violin*
石田紗樹 (ヴィオラ) 鈴木皓矢 (チェロ)
Saki Ishida *viola* Koya Suzuki *violocello*

森岡聡(紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー、名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)、廣瀬心香(TRIO VENTUS、元ハノーファー州立管弦楽団フォアシュビーラー)、石田紗樹(東京都交響楽団副首席)、鈴木皓矢(TRIO VENTUS)の4名で2022年に結成。「エウレカ」とはギリシャ語で「見つけた!」や「分かったぞ!」の意を持つ感嘆詞。古代ギリシャの科学者アルキメデスが風呂場である原理に気づいた際、喜びのあまりエウレカ! エウレカ!と叫びながら裸で街を走り回ったという故事にちなんで、4人それぞれの視点から作曲家の意図を読み解いた時、奏者と聴き手が共鳴した瞬間、奏でられた音楽から活力が生まれるその一瞬に、まさに「エウレカ!」が飛び出すことを思い描き、カルテット名とした。2022年6月に開始したベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲ツィクルスと並行して、弦楽四重奏を含んだ五重奏から八重奏など、どこまでも広がる室内楽の世界を深く味わい尽くしたいという想いから、Eureka Quartet+Plusシリーズを進行中。

<https://www.musicasilva.com/eureka-quartet/>



上野由恵

(フルート)
Yoshie Ueno *flute*

東京藝術大学をアカンサス音楽賞を得て首席卒業。同大学院修士課程修了。2007年第76回日本音楽コンクール第1位、岩谷賞(聴衆賞)、加藤賞、吉田賞、E. ナカミチ賞。2004年第2回東京音楽コンクール第1位。同年第15回日本木管コンクール第1位、コスモス賞(聴衆賞)、兵庫県知事賞、朝日新聞社賞。ソリストとして、国内外多数のオーケストラ(読売日響、東京都響、東京フィル、新日本フィル、東響、神奈川フィル、関西フィル、セントラル愛知響、京都市響、広島響、チェコ・フィル室内管、ベルリン・フィル弦楽メンバー等)と共演。その他、ドイツ、オーストリア、フランス、ロシア、アメリカ、韓国、中国、台湾に招かれ演奏している。2005年と2016年には皇居内にて御前演奏の栄に浴す。これまでに、オクタヴィア・レコード等より計13枚のCDをリリースし、それぞれ「レコード芸術誌」特選盤、朝日新聞特選盤等に選ばれる。また、2021年にリリースした「細川俊夫フルート作品集」はヨーロッパ各メディアで絶賛された。2016年よりワシントンとパリに拠点を移し、アメリカ及びヨーロッパ各国で活動。2018年には「S&Rワシントン賞」を受賞し、ワシントンでのソロリサイタルやNYカーネギーホールなどでも演奏を重ねる。同年夏に帰国後も、国内外での精力的な演奏活動を続けている。

<https://www.yoshieueno.com/>



金子 平

(クラリネット)
Taira Kaneko *clarinet*

1984年埼玉県生まれ。東京藝術大学を経て、2012年独リユベック国立音楽大学院修了。クラリネットを半田裕一、山本正治、村井祐児、ザビーネ・マイヤーの各氏に師事。2006年第75回日本音楽コンクール1位受賞。2008年第57回ミュンヘンARD国際音楽コンクールで日本人初となる第3位入賞。紀尾井ニュー・アーティスト・シリーズ第17回、NHK FMリサイタル・ノヴァ、B→Cリサイタルシリーズ、木曾音楽祭に出演。2009~12年リユベック歌劇場クラリネット奏者を経て、現在、紀尾井ホール室内管弦楽団メンバー(2012~)、読売日本交響楽団首席クラリネット奏者(2013~)。

無料
ご招待席

紀尾井みらいシート

対象：小学生から高校生まで(公演日基準)とその保護者(※)
※小学生は保護者同伴必須、中学生は保護者の承諾で本人単独での応募・来場可。
ご招待席数：10席
応募期間：2025年3月7日(金)正午~5月11日(日)正午
当選通知：締切後1週間以内をめどにお知らせします。
応募方法：以下のURLを直接入力いただくか、右QRコードからお進みください。
<https://kioihall.jp/kioimiraisat>
※応募多数の場合は抽選となります。

日本製鉄文化財団では若い世代の方に生演奏の感動を体験いただくための「紀尾井みらいシート」を設けています。小学生から高校生の皆さんを対象に主催公演にご招待します。

